



幹 事 連 絡

平成26年12月1日

午後3時50分

清 水 海 上 保 安 部

(問合せ先)

管理課長 牧野 康成

電 話 : 0 5 4 - 3 5 3 - 1 1 1 8

F A X : 0 5 4 - 3 5 3 - 7 1 1 8

広 報

海難救助功労者に対する感謝状贈呈について

清水海上保安部では、平成26年7月27日(日)、沼津市大瀬崎沖において水上オートバイ2隻から海中転落した5名の漂流者を救助した2隻のプレジャーモーターボート船長ほか乗船者の方々に対し、その功績を称え、清水海上保安部長から感謝状を贈呈することとしました。

取材を希望される社は、平成26年12月3日(水)午前10時までに、別添「取材票」に必要事項を記入のうえ、清水海上保安部管理課までFAXにて送信願います。

記

1. 実施日時 平成26年12月3日(水)午後2時30分から
2. 実施場所 清水海上保安部 部長室
住所 静岡市清水区日の出町9-1(5階)
3. 被表彰者
 - (1) プレジャーモーターボート Sea Challenger
船長 田中 正秀(たなか まさひで)氏ほか乗船者5名
 - (2) プレジャーモーターボート イデシギョー
船長 井出 純一(いで じゅんいち)氏ほか乗船者6名

4. 救助の概要

平成26年7月27日午後4時半前、沼津マリーナから、同マリーナ所属船のオーナーが大瀬崎沖で転覆した水上オートバイの乗組員3名を救助したが、2名がまだ流されているとの緊急通報用電話番号118番あて通報がありました。

当部巡視艇「みほかぜ」を発動させ現場向け急行中のところ、現場付近を通りかかった上記2隻のプレジャーモーターボートの乗船者が一致協力し、救命浮環を投げ渡すなどし、漂流者5名全員を救助しました。

漂流者は救命胴衣を着用し約30分間の漂流の後救助されましたが、当時の海上は南西の風約10メートル、波の高さ約50センチメートル、うねり約1メートルの荒れた状態であり、最悪の場合、漂流者の人命に重大な危険を及ぼすおそれがあった事案で、その功績は顕著なものであることから、感謝状を贈呈することとしたものです。